sanwa company

⚠ 注意　⃠ 禁止　❗ 実行
以上の記号の記述を必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

機能門柱【OSPOLE/オスポール】 施工説明書

❗ **施工は専門業者が行ってください。**専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

❗ **電気工事は、電気工事士の資格が必要です。必ず電気工事店へ依頼してください。**

❗ 取扱説明書に基づき、商品の使い方や保守･点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様へ説明してください。

⚠ 商品が届きましたら養生シートを外してキズやヘコミ等が無いことを確認してください。
同梱されている取り扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。

1 施工上の注意事項

❗ ねじやボルトは全て確実に締めてください。ねじは止める面に対し、傾かないよう垂直に取り付けてください。

⃠ 指定の部品以外は使用しないでください。

❗ 基礎は指示寸法以上にしてください。

⚠ コンクリートまたはモルタルの養生期間は十分（**4日～7日**）とり、養生期間中は重いものを乗せたり、振動させたりしないよう、お施主様や他の工事業者様にお願いするか、その旨注意表示をしてください。

⚠ ステンレス部材の腐食防止のため、以下の点に注意してください。
①基礎用のコンクリートおよびモルタルに海砂を使用しないでください。塩分が含まれていますので、腐食原因になります。また、凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤なども使用しないでください。
②ステンレス部材表面に付着したコンクリート・モルタルなどの汚れは速やかに取り除いてください。
③ステンレス部材と、他の金属が接触しないようにしてください。必要に応じて絶縁処理を行ってください。
④柱を立ててからコンクリートを施工してください。また柱内部の水の排出のためG.Lライン上部に φ5mm 程度の水抜き穴をあけてください。

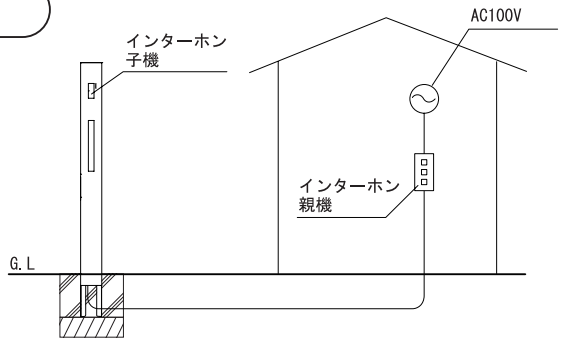
❗ 電気工事完了後、施主様へ引き渡す前に通電し作動確認を必ず実施して問題のないことを確認してください。

❗ 施工後、ボルトおよびねじ類にゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所などがないか点検してください。

2 工事の分担

■取り付け施工店
機能門柱の設置‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ P.3

■電気工事店
インターホンの取り付け･配線工事‥‥‥ P.3～4



3 施工時に用意していただくもの

■インターホン（次ページの子機対応一覧表をご覧ください）

■ケーブル･電線管（施工時に必要になるケーブル・電線管等をご確認ください）

1	インターホン用ケーブル（VCTF 0.75㎟×2芯または3芯）※インターホン子機～親機間用
2	合成樹脂可とう電線管（波付CD管呼び経16）※門柱～インターホン親機間用
3	CD管カップリング

⚠ インターホン用ケーブルはご使用になるインターホンに適したケーブルをご用意ください。

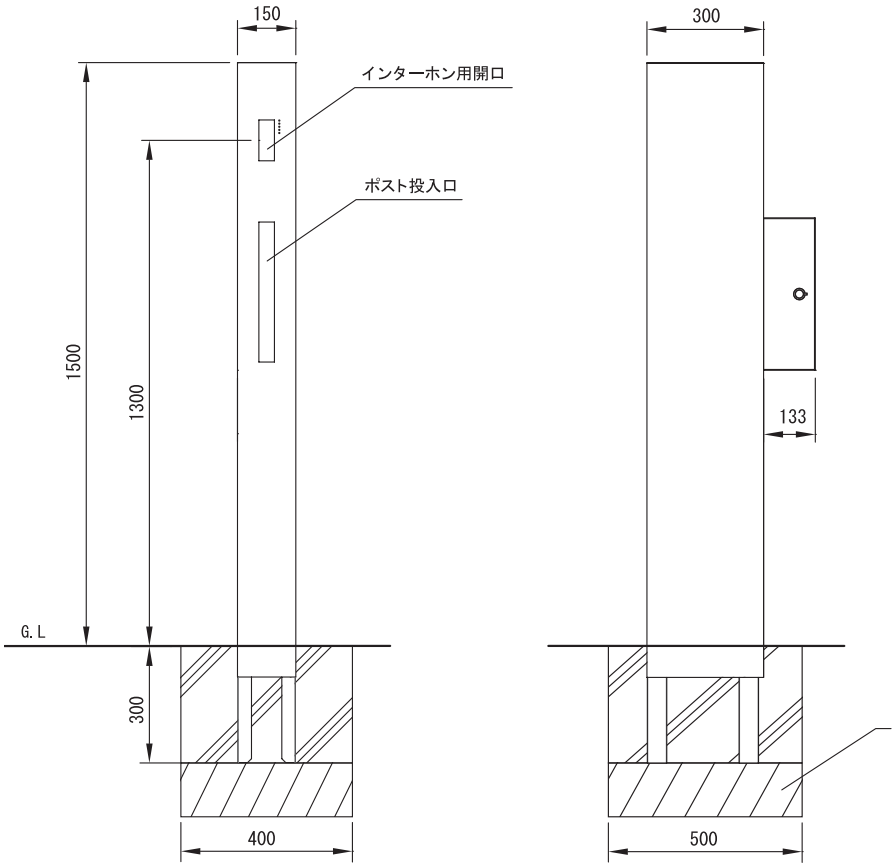
4 対応インターホンについて

※インターホンは、市販の露出型インターホンを別途購入してください。

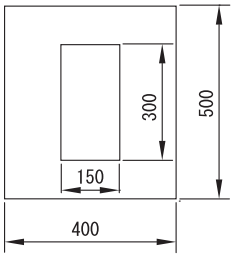
メーカー名	対応子機品番
アイホン(株)	WJ-DA
	JH-DA
	WF-DA
	JF-DAS
	JL-DA

メーカー名	対応子機品番
パナソニック(株)	VL-V566-S
	VL-V570L-S
	VL-V522L-S
	VL-V571L-S

5 納まりおよび基礎寸法

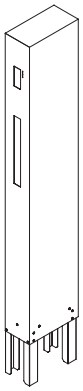


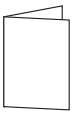
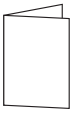
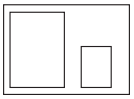
■基礎寸法(埋め込み深さ300)



6 梱包内容

※開梱時に種類・数量及び異常がないか必ず確認してください。

名　称	形　状	数　量
機能門柱 (CD管内蔵)		1

名　称	形　状	数　量
施工説明書		1
取り扱い説明書 必ず施主様に お渡しください。		1
ダイヤル錠 解錠番号シール		1

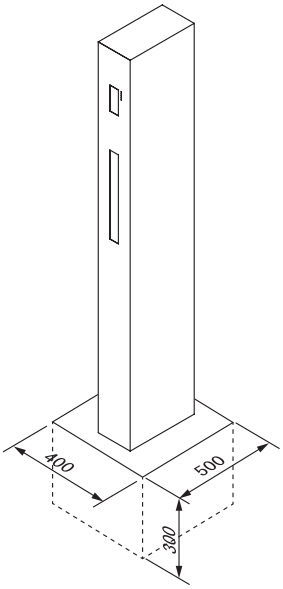
7 門柱の設置

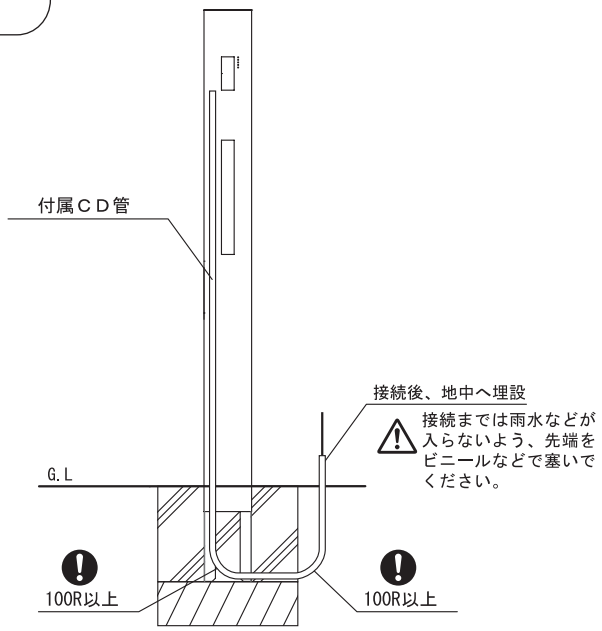
①門柱を埋め込み穴に設置し、仮固定してください。
②門柱を支え棒などで自立させてください。キズ防止のため必ず養生してください。
③納まり寸法、門柱の垂直・水平を確認し、コンクリートを打ってください。

電線管の先端は室内側との接続までは仮に地表に出してください（接続後、地中へ埋設します）

基礎のコンクリートおよびモルタルに海砂を使用しないでください。
また、凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤なども使用しないでください。

柱内部の水の排出のためG.Lライン上部に
φ5mm程度の水抜き穴を適宜あけてください。



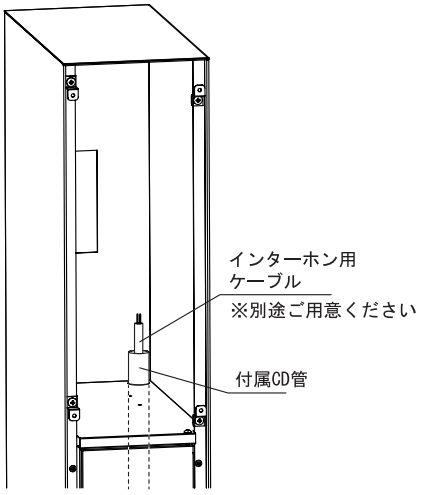


8 配線工事

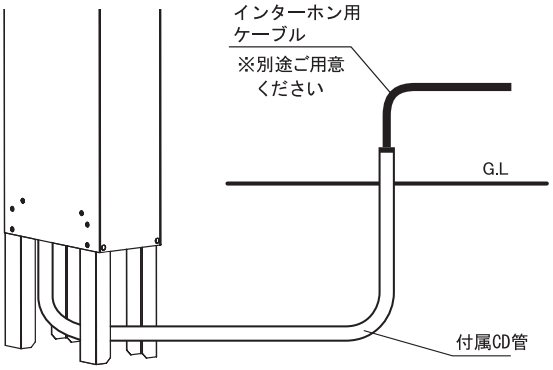
インターホン工事は電気工事店様に依頼してください。電気工事は、電気工事士の資格が必要です。

電気配線は、折り曲げたり、はさんだり、傷つけたりしないでください。漏電や感電の原因になります。

本商品付属のCD管はコンクリート内埋設用です。屋外への露出や直接地中埋設などの配管はしないでください。



インターホン用ケーブルを以下のように付属ＣＤ管に通し、付属ＣＤ管から外へ出してください。



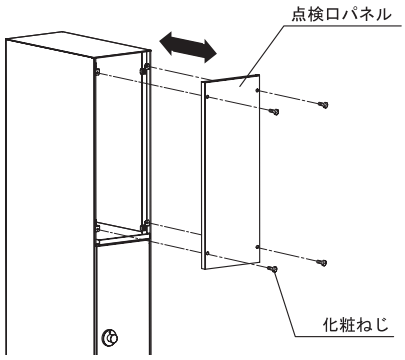
はずした部品およびねじは再度使用しますので丁寧に扱ってください。

9 インターホンの取り付け

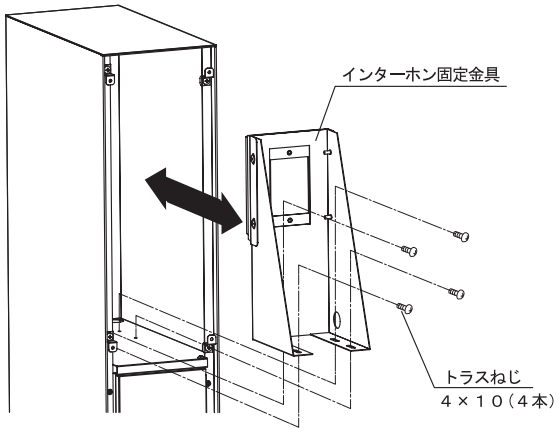
⚠ **インターホン工事は電気工事店様に依頼してください。電気工事は、電気工事士の資格が必要です。**

❗ **対応インターホンは2ページの対応子機品番をご確認ください。**

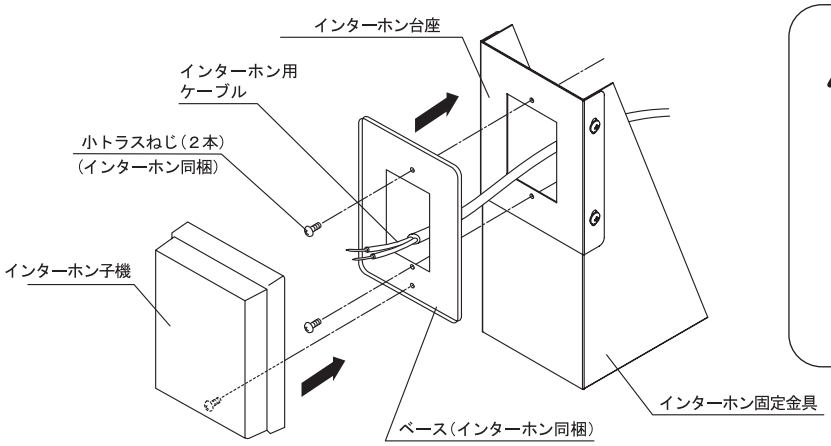
1 点検口パネルの取り付け･取り外し



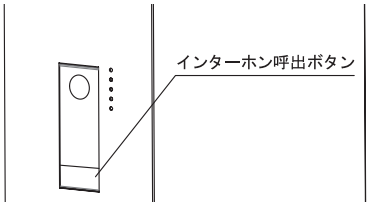
2 インターホン固定金具の取り付け･取り外し



3 インターホン子機をインターホン台座に取り付け

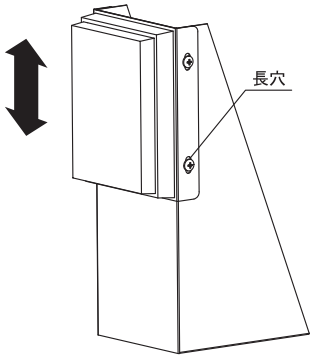


⚠ インターホンの呼出ボタンが門柱に接触しないようにしてください。

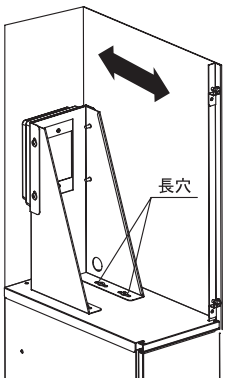


⚠ 結線方法などの詳細については、インターホンの取扱説明書をご覧ください。

❗ 上下位置はインターホン台座の長穴で調整



❗ 前後位置はインターホン固定金具の長穴で調整



K4201550